

伊藤先生の実践へのコメント

甲府市立新田小学校 今澤悌

JSL「教科志向型」授業のつくりかた

授業作りの流れ

- (1) 在籍学級の授業を分析する
目標は・・・ 学習活動は・・・
- (2) 目標を決める
教科としての目標は・・・ 日本語の目標は・・・
- (3) 学習活動を考える
在籍学級と同じ活動で・・・ 違う活動で・・・
- (4) いつ授業をするか考える
在籍学級の授業に先行して？ 平行して？ 終了後に？
- (5) 理解支援・表現支援を考える

「教科志向型」授業のつくりかた

(2) 目標を決める (子どもの実態に照らして)

◎ 各教科の目標(教科としての目標)

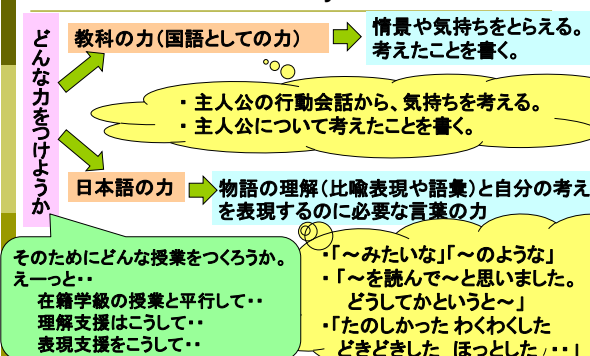
- * 在籍学級の目標を目やすに、児童の実態を考慮して決める。(どこまでの〇〇科の力をつけられるかな・・・)

◎ 日本語の目標

- * 本単元・本時の中で身につけさせたい日本語語彙・表現等を、より具体的に(指導者が授業の中で意識できるように)明示する。

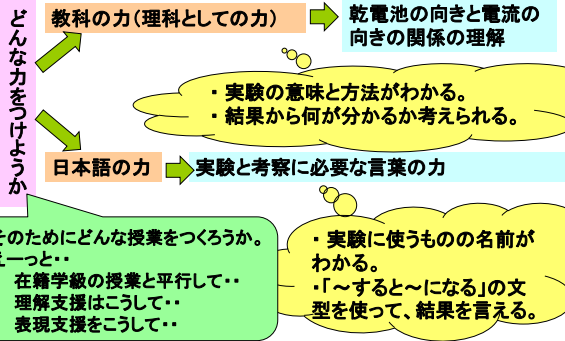
※目標や学習活動を定めるイメージ

国語科「スイミー」 by 伊藤先生



※目標や学習活動を決めるイメージ

理科「電気のはたらき：かん電池のつなぎかた」



「教科志向型」授業のつくりかた

(5) 理解支援・表現支援 を考える

① 理解（を促す）支援

◎ 内容理解の優先

- 教科書(題材)にはどんなことが書かれているのか
- 教科書や学習活動は、どんな事を求めているのか等を理解させる

◎ 内容理解の工夫(具体物による活動、体験的活動等を通して理解を促す)

◎ 文化・社会的背景、生活経験・学習経験の不足への配慮

② 表現（を促す）支援

参考：JSLカリキュラム中学校版より

理解支援

- ◎ **言い換える**：生徒が知っている言葉や母語などで言い換える
- ◎ **視覚化する**：実物、模型、絵、写真、図などを利用。色分け。
- ◎ **例示する**：具体的な例を示す。
- ◎ **比喩を利用する**：生徒が知っているものにたとえる。
- ◎ **対比させる**：対になることばや事柄を示す。
- ◎ **明示する**：課題、手順、見通し、流れなどを明確に示す。
- ◎ **簡略化する**：いくつかに分割、重要な点だけに絞り簡略化。
- ◎ **整理する**：分かりやすく整理して示す。
- ◎ **補足する**：背景知識やことば、情報などを補う。
- ◎ **関連づけ**：事柄の関係性(因果関係、順次性等)を示す。
- ◎ **既知知識を活性化**する：先行経験、既習知識に関連づけて説明。

具体的な支援の方法

<理解支援>

◎ 授業や教科書の内容を理解するための支援

◎ 教科書・授業の学習活動では、何をどのように行うことを求めているのか等を理解するための支援

⇒ 理解のための具体的な手だて

- 実物・写真等の提示
- ワークシート
- リライト教材
- 紙芝居

絵本化 など

「視覚的な支援」

- ・ 自作教科書
- ・ 言葉絵カード
- ・ 場面絵
- ・ 動作化

「教科志向型」授業のつくりかた

(5) 理解支援・表現支援 を考える

① 理解（を促す）支援

◎ 内容理解の優先

- 教科書(題材)にはどんなことが書かれているのか
- 教科書や学習活動は、どんな事を求めているのか等を理解させる

◎ 内容理解の工夫(具体物による活動、体験的活動等を通して理解を促す)

◎ 文化・社会的背景、生活経験・学習経験の不足への配慮

② 表現（を促す）支援

◎ 多様な表現手段の利用

◎ 「話す」表現から「書く」表現へ

参考：JSLカリキュラム中学校版より

表現支援

- ◎ **選択肢を示す**： 語彙や表現の例を示し、選ばせる。
- ◎ **表現方法を示す**： ことば以外の表現方法(絵、写真、図等)、多様な表現方法での表現を促す。
- ◎ **モデルを示す**： 文や文章レベルで、発表や作文のモデルを示す。
- ◎ **キーワードを示す**： 内容に関するキーワードを示し、表現内容を構成させる。
- ◎ **対話で引き出す**： やりとりで表現したい内容を引き出し、文章化する。
- ◎ **母語で表現させる**： 母語で表現させ、それを日本語で表現させる。

具体的な支援の方法

<表現支援>

- ◎ 表現モデルの提示
- ◎ 話しことばから書きことばへ

⇒ 表現のための具体的な手だて

- モデル文の提示
- 穴埋めやパターン文をガイドにして簡単な記述へ
- 対話で表現したい事を引き出し文章化する。 など

※「JSLカリキュラムの授業」のイメージ

理科：「乾電池のつなぎ方」

教科の目標

- ・ 実験の意味と方法がわかる。
- ・ 結果から何が分かるか考える。

日本語の目標

- ・ 「～すると～になる」「このことから、～とういことがわかる。」の表現が使える
- ・ 実験に使うものの名前がわかる。

学習活動

予想を立てる

「～すると～になる」と思います。

表現モデル

実験をする

「～するとどうなった?」「～すると～になった!」

やりとり

結果をまとめる
考察する

「～すると～になった。」

「このことから、～とういことがわかる。」

ワークシート

結果と考察を発表する。

「～すると～になりました。」

「このことから、～とういことがわかりました。」

表現モデル

実験に使うものの名前を知り、各学習活動に使える。 実験器具カード

身につけさせたい語いや表現(日本語の目標)を学習活動の中に埋め込む。

活動し考える中で、教科の力を養い、同時に日本語を学び、繰り返して使うことにより定着していく